富工同窓会だより

平成28年３月１日発行
発行者
富山県立富山工業高等学校
同窓会
事務局：富山市五福2238
〒930-0887 富山工業高等学校内
☎(441)1971　FAX(432)1250
印　刷：北日本印刷株式会社

リニューアルオープンした図書館

ごあいさつ

会長　坂田光文

早春の候　会員の皆様には日々ご健勝で地域にまた職場にますますご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年の叙勲では、会員の永田　章氏、塩苅進一氏、室井清志氏、大井俊明氏、の四氏が危険業務従事者として、瑞宝単光章、橋本　保氏が、現代の名工として黄綬褒章を受賞、平井　清氏が、スポーツ振興労で旭日単光章を受賞されるなど、各方面で活躍なさっておられる会員の方々が、栄誉に浴されたことは誠におめでたく、同窓会の誇りでもあります。

小生も、秋の叙勲において、旭日小綬章をいただきました。これも、日頃より会員の皆様にご指導ご鞭撻をいただいたおかげと、感謝しております。

さて、富山県におきましては、長年の悲願でありました北陸新幹線が開業し、多くの方が観光や出張で利用され、人的交流が盛んになりました。また、大きな商業施設がオープンし、県全体の活性化に貢献しているものと思います。今後これらを活用し、さらなる発展のために、県民一丸となって取り組んでいかなければと考えています。

また、母校の近況としましては、安全安心な教育環境整備に向け行われていた、校舎耐震化工事が平成27年11月末に終了しました。校舎全体がようやく使用できるようになり、図書館も移設リニューアルをし、より充実した学習指導が実践出来るようになりました。部活動では、運動部、文化部、工学部が全国大会や北信越大会等に多数出場し、入賞をはじめ優秀な成績を残しております。

最後に本同窓会におきましては、母校創校百周年を迎えるにあたり、学校との連携をさらに深め、記念式典や記念誌づくり、名簿整備など各事業に鋭意取り組んでおります。

会員の皆様には、趣旨にご賛同いただき多数のご寄付を賜り感謝申し上げます。

記念式典を平成28年10月21日午後１時30分より、富山市芸術文化ホールにて挙行致しますので、多くの会員の皆様に足を運んで頂ければ幸いです。

終わりに、富工のさらなる発展と、同窓会員の皆様のご活躍とご多幸を心より祈念申し上げご挨拶といたします。

ごあいさつ

学校長　當流谷　正博

同窓会会員各位には、日頃より本校の発展のために多大のご協力とご支援を賜り、衷心より厚く御礼申し上げます。本校は、平成22年度に「ものづくりの中核校」として新たにスタートして以来、皆様方の温かいご理解のもと、これまでの伝統を礎として、本県工業教育に貢献すべく努力を続け、着実な成果を上げてまいりました。

さて、本校の現況を概観しますと、一昨年来懸案となっておりました校舎環境整備については、耐震工事とE棟減築を終了し、図書館の移設と開館、展開教室や実習室の整備を順次進め、現在は建築工学科職員室の整備に取り組んでいるところです。生徒達の文武両道における活躍については、全国高等学校野球大会県予選での野球部準決勝進出や県高校総体におけるサッカー部の決勝進出を始め、ボート、ソフトボール、剣道、ソフトテニスの全国高校総体出場、バドミントン、ハンドボール、陸上、柔道、登山の北信越大会出場など、運動部の躍進は枚挙に暇がありません。お家芸となったロボット競技でも、昨年に引き続き本校で実施された全日本ロボット相撲北信越大会や全国大会での活躍は、報道にも大きく取り上げられました。一方、文化部でも吹奏楽部が2年連続で出場した北陸吹奏楽コンクールにおいて金賞並びに北陸代表権を獲得し、北海道で行われた東日本学校吹奏楽大会に出場するという輝かしい成果を残しました。また、鈴鹿サーキットで行われたＫＶ－ＢＩＫＥチャレンジ全国大会での電子研究部の優勝、県インテリアデザインコンクールでの富山県知事賞受賞など、他の分野においても数多くの栄誉に浴しています。さらに、今年は、北陸新幹線の開業に伴う行事も多い中、本校で製作した「ミニ北陸新幹線」が地域の皆様から大評判で、毎月のように依頼を受けて出張展示をさせていただくとともに、第1回とやまマラソンでは、沿道応援の吹奏楽部による演奏、運営ボランティアなど、大会の雰囲気を盛り上げるため、多くの生徒諸君が協力をしてくれました。進路決定においては、2年ぶりに富山大学工学部に2名が合格し、就職でも景気の追い風と諸先輩の伝統に支えられ、北陸電力様から応募者全員の内定をいただいたのを筆頭に、11月末までに県内外の優良企業の皆様から希望者全員が内定をいただくことができました。

さて、会員各位のご尽力によって栄光の歴史を重ねて参りました本校は、来年度いよいよ創校百周年を迎えることとなりました。今年度初頭より、坂田同窓会長を委員長にお迎えし、同窓会はもとより、ＰＴＡ、本校振興会の皆様とともに実行委員会を立ち上げ、10月21日にオーバードホールで行う記念式典や電気ビルでの祝賀会にむけ、鋭意準備を進めているところです。記念事業としては、一層の部活動振興にむけたトレーニングルームの整備、本校１００年の歩みを振り返る記念誌の発刊等を予定しておりますが、募金額は未だ目標額に達せず、苦慮しているところです。実行委員会では、百周年記念事業の成功に向け、熱心に取り組んでいただいているところですが、会員各位におかれましても、今後益々のご指導・ご鞭撻、そして大いなるご理解・ご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。百周年事業の成功にむけ、皆様の一層のご支援をお待ち申し上げております。

創校百周年記念事業について

副校長　寺島禎一

4月より本校に赴任いたしました副校長の寺島です。創校百周年記念事業関連について担当することとなり、歴史と伝統の重さ、任の重さを感じている次第です。力不足とは思いますが、全力を尽くしますので、どうかよろしくお願いいたします。

それでは、創校百周年に向けての経過等についてご説明いたします。同窓会の皆様には、先にお配りいたしました書面にて既にご存じのこととは思いますが、事業の正式名称は、「富山県立富山工業高等学校創校百周年記念事業」で、一般記念事業と特定記念事業の大きく分けて二つの事業を行います。一般記念事業では、平成28年10月21日（金）午後、富山市芸術文化ホール（オーバード・ホール）での記念式典と講演会、それに引き続く富山電気ビルディングでの祝賀会と記念誌（「富工百年のあゆみ（仮）」）の刊行を行います。特定記念事業は、現在の第2体育館のピロティのおよそ半分の面積にトレーニングルームを建設し、トレーニング機器の整備も行います。このような事業を行うために、坂田光文同窓会長を委員長とし、同窓会、教育振興会、PTA、そして教職員から成る実行委員会を設置し、これまでに3回開催しました。第1回（5月）では実行委員会の立ち上げについて、第2回（8月）では募金計画等について、第3回（12月）では募金やその他の進捗状況についてご意見を頂きました。なお、今年度は、3月後半にもう一度開催を予定しています。来年度の予定としましては、5月に式典等の具体的な内容について、そして8月には、式典当日に向けての確認のための実行委員会を開催したいと考えております。

また、各種小委員会を設けて具体的な作業も行っております。例えば記念誌に関しては、記念誌小委員会を開催し、記念誌の基本的な方向性の決定や委託業者の選定を行い、編集作業を記念誌編集委員会で行っています。今後、同窓会会員の皆様には、寄稿のお願いなどお力添えをお願いすることと思いますので、よろしくお願いいたします。募金に関しましては、募金計画小委員会を開催し、企業リストの検討や企業訪問計画と分担などについての検討を行いました。このように、必要に応じてそれぞれの小委員会を開催し、円滑な業務の遂行に努めたいと考えております。

さて、募金についてですが、募金計画小委員会での計画に従い企業訪問を行いました。合計100社以上訪問したのですが、中国経済の影響など将来の不透明感や景気回復の鈍化などから思わしい返事をいただけない企業も多いのが現状です。また、同窓生の方々からの募金協力につきましても、同窓会員の2％に止まっております。募金受付終了が8月末になっておりますが、今年度内の3月までにより一層の募金協力をお願い致します。

新年度となる4月からは、百周年記念事業に関わる情報を積極的に発信し、協力体制をさらに強化していく所存でございます。

最後になりますが、創校百周年記念事業を成功裡に終えるためには、同窓会、教育振興会、PTA、そして教職員の全てが一枚岩になり、記念事業推進に総力を結集してこそ成し遂げられることと考えております。皆様方からのさらなるご指導・ご鞭撻、そしてご協力をよろしくお願いいたします。

第64回

平成27年度 定期総会
母校百周年に向け決意新たに

同窓会定期総会は平成27年8月21日（金）午後6時より富山電気ビル5階大ホールにおいて開催されました。坂田光文会長の挨拶をかわきりに當流谷正博校長の母校近況報告、引き続き議事に入り高田重信副会長を議長に平成26年度事業報告、一般会計報告が行われ承認されました。続いて平成27年度事業計画案、一般会計予算案について提案され承認されました。

総会終了後、永年勤務職員表彰が行われ受賞者を代表して高木義春教諭より謝辞が述べられました。その後、ゲストとして落語家、越中家漫欽丹様をお呼びし、落語を披露していただきました。懇親会は、浦田邦昭副会長の乾杯で開宴し、和やかな雰囲気で交歓の輪が広がりました。最後は、同窓会員の皆様方より盛大な万歳を頂き、寺島禎一副校長の万歳で散会となりました。

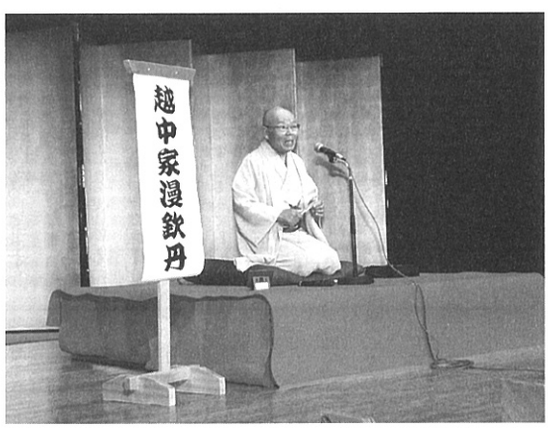
賑わった総会会場

同窓会総会会場

母校永年勤務職員表彰者

（敬称略）

竹本宏彰〈勤続20年〉
高木義春〈勤続10年〉
大谷隆〈勤続10年〉
長井裕〈勤続10年〉
山本和幸〈勤続10年〉



越中家漫欽丹さんの落語

祝報

○瑞宝小綬章　受賞
太田利男(19T)
○危険業務従事者叙勲
永田　章(38F)　塩苅進一(41M)
室井清志(38P)　大井俊明(44P沢)
○富山県議会議員当選
宮本光明(52M)
○富山市議会議長就任
有沢　守(44C)
○藍綬褒章
東　貞夫(32M)
○全国法人会長賞　受賞
清田力三(定48E)
○県法人会長賞　受賞
若井英忠(48E)
○瑞宝双光章　受賞
南　弘(20E)
○旭日単光章　受賞
平井　清(34A)
○黄綬褒章　受賞
橋本　保(33T)
○県教育産業育成功労表彰　受賞
富工教諭　石田泰隆　稲沢広三
○旭日小綬章　受賞
坂田光文(30C)

平成27年度寿会新入会員
太田利夫(19T)　有澤　守(44C)
藤井　司(55H)　井本秀治(59A)

坂田会長に旭日小綬章
叙勲祝賀会開催予定

平成二十七年秋の叙勲で、本校同窓会長坂田氏が旭日小綬章の栄誉に輝いた。

坂田会長は1991年、県議に初当選。6期24年間務め、道路や砂防、水害対策といった社会インフラの整備に力を注いだ。今回の叙勲を受け、坂田氏は「安全・安心の県土づくりに向け、地域の代表として努力してきたことが認められた。皆さんにお礼申し上げたい」と述べた。

宮本光明氏を発起人とする同窓会有志は、会長の叙勲を祝い3月18日(金)午後5時30分から富山電気ビルにて祝賀会を開催する。

富山県立工業課程高校
同窓会連絡協議会
滑川高校で行う

富山県立工業課程高校同窓会連絡協議会の十月定例会は、十月六日滑川高等学校で行いました。

滑川高校同窓会の金森さんの司会で進められ、まず中屋一博同窓会長は、我々同窓会も一歩でも改革ができれば良いなと思っており有意義な会になることを祈念しますと開会のあいさつがありました。

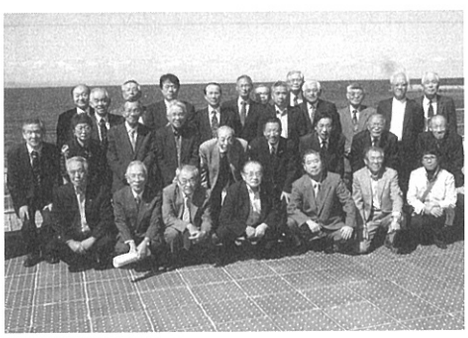
つづいて、沢井友義滑川高校長より学校の概況と歓迎のあいさつを頂き校内の施設見学に移りました。

「歴史資料館」、「薬業科実習室」では、小柴憲一先生よりビタミン剤とバイオについて、「海洋科実習棟」では、山本明先生よりサクラマスの養殖水槽とマスのスシや缶詰製作について説明をいただきました。

広貫堂では、森滑川工場長よりドリンクの製造について説明を受け、工場見学を行いました。

定例会では、坂田光文会長による開会のあいさつにつづいて各校の情報交換を行い、次回例会を五月十三日とし、秋の例会を桜井高校同窓会にお世話をいただくことに決定いたしました。

砺波工業高校同窓会長の移動により寺井前会長に代わり大谷弘行新会長があいさつされ一同拍手でお迎えしました。



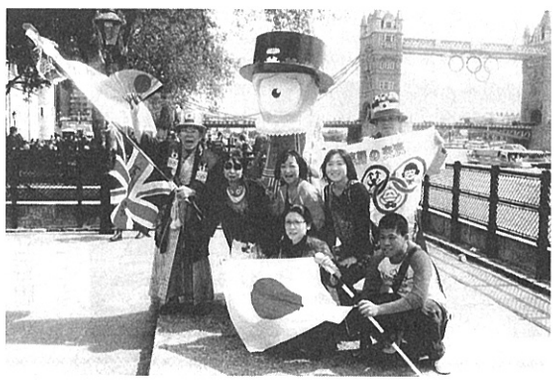
富山県立工業課程高校同窓会連絡協議会
10月例会（滑川）
平成27年10月6日　パノラマレストラン光彩

人を喜ばせ、自分も幸せ
―生涯五輪応援―

山田　直稔（18本A）

どこの誰かまでは知らないけれど、誰もがその姿を知っている。自称「国際オリンピック応援団長」、人呼んで「オリンピックおじさん」。１９６４年の東京五輪から、２０１２年のロンドン五輪まで、夏季五輪の会場に欠かさず足を運び、各国の選手たちに熱い声援を送ってきた。

本業は実業家で、五輪での応援は「生きがい」。日の丸をあしらった衣装にシルクハットのいで立ちと、日本国旗を振る派手なパフォーマンスが注目を集め、五輪の度に新聞やテレビに登場。昨年9月、20年の五輪開催地が東京に決まった際も、喜ぶ姿が紹介され、益々元気で五輪の応援に磨きをかけていきます。



同窓生職場紹介 シリーズ

丸新志鷹建設株式会社

森永　聡（平3A）

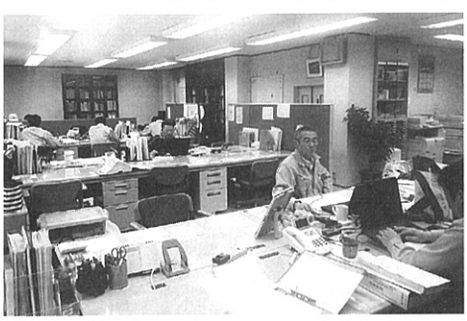
■会社の紹介

当社は立山町の芦峅寺に本社があり、「山」を得意とする会社です。土木・建築工事を中心に行っているほか、土石プラントや木質ペレット工場などもあります。また、地元小学校とネパールのクムジュン村の小学校が姉妹校提携を結んだことがきっかけで、ネパールにも支店があり、ネパールとブータンでも仕事を行っております。

■各部署の業務内容紹介

土木部では、砂防工事や護岸、山岳道路整備、ダム、橋梁、トンネル、新幹線建設などを行っております。建築部では、学校や駅などの公共施設建設や山小屋建設などを行っております。県内唯一の木質ペレット工場では、県内森林の間伐材を有効活用して自然エネルギーの木質ペレットを製造し、床暖房や温水プール、温泉施設などの熱源、個人宅のペレットストーブの燃料として供給しております。ネパール支店では、ネパール国内で灌漑工事や道路整備などの工事をしており、ブータンでは日本企業初となる国道工事を受注し、親日でも有名なブータン国王夫妻も現場視察にお見えになられました。

ネパールでは昨年大地震が発生しましたが、支店関係では甚大な被害もなく順調に工事を進めております。また、本社ではネパール支店もあることから、ネパール人も雇用しております。社内では全社員がパソコンを使用し、現場はもちろんネパール支店にいても社内LANで情報を共有し、社員全員が技術の向上を目指しております。



最後に、富山工業高校の創立百周年を心からお祝い申し上げますとともに、富山工業高校の益々のご発展と、同窓会員各位のご健勝とご活躍をお祈り申し上げ、職場紹介とさせていただきます。

平成27年度第3学年の進路希望状況

（平成28年1月31日現在）

わが国の景気は、輸出・生産面に新興国経済の減速の影響がみられるものの、緩やかな回復を続けています。雇用情勢も引き続き堅調で、本校への求人は昨年度と比較してさらに2割程度増加し、これまでの最高求人数を更新しています。

このような状況の中、新高校として四回目の卒業生となる第3学年の生徒は、ほとんどが進路先を決定しています。特に就職希望者に関しては、十一月下旬までに全員が内定をいただくことができました。

これもひとえに同窓生のご活躍があってのことと感謝しております。本年は創校百周年を迎える節目の年でもあり、今後ともご支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

進路指導部　山腰　誠

学科＼項目	在籍生徒数	就職希望者数	就職希望者の内訳 県内	県外	公務員	自営	進学希望者数	進学希望者の内訳 大学	短大	高専	職業訓練校	専門学校・他
機械	79 (1)	59 (1)	53 (1)	3	2	1	20	6	4	0	2	8
電子機械	40 (1)	29 (1)	27 (1)	1	1	0	11	5	1	0	3	2
金属	40	35	31	3	1	0	5	4	0	0	0	1
電気	76	62	56	5	1	0	14	7	1	0	1	5
建築	39 (15)	22 (7)	21 (7)	0	0	1	17 (8)	8 (1)	0	0	0	9 (7)
土木	39	31	26	3	1	1	8	6	0	0	0	2
合計	313 (17)	238 (9)	214 (9)	15	6	3	75 (8)	36 (1)	6	0	6	27 (7)
		76.0%					24.0%					

（ ）は女子の内数

母校だより

国体ハンドボール団体3位

ハンドボール部　直井　怜希(E32)

僕は、八月に行われた北信越国体に優勝し十月に和歌山県で開催された紀の国わかやま国体に富山県代表として出場する事ができ、準優勝という結果を残す事ができました。

この富山県代表のチームは、富山県で1位のチームの高岡向陵高校を主体とした、各チームから招集して結成するチームで、僕は声をかけていただき参加する事になりました。

夏休みが始まる頃から十月の大会までの約三ヵ月間の間ほぼ毎日、高岡向陵高校に通っての練習は、自分にとってハンドボールというものの世界観が変わる程のものでした。実際にトップレベルのチームでのプレーを経験する事ができ、県外への遠征や日本体育大学などでの合宿などでは、色々なプレーを目にする事ができとても刺激になりました。

また新しい仲間達や監督さん、コーチなど遠征先などでもたくさんの出会いがありました。この方々のおかげでここまでの結果を出す事ができ、とても感謝しています。

また、今の僕があるのも、富山工業ハンドボール部に所属し、厳しい練習に一生懸命に取り組んできた成果もあっての事です。僕を支えてくれた仲間達や、顧問の下條先生のおかげです。

これまでの経験を生かし、僕は大学でハンドボールを続ける事も決まり、ますます力を入れて、ハンドボールに取り組んでいきます。応援よろしくお願いします。

富山県代表ハンドボールチーム

平成27年度

同窓会・同窓会役員寿会による　創意工夫・部活動等奨励表彰

富山工業高等学校創校九十周年記念事業の一環として、富工高同窓会と同窓会役員寿会の共同出資により企画された、創意工夫・部活動等奨励表彰式が、二月二十九日同窓会入会式終了後に行われ、以下のグループ、個人が表彰された。

創意工夫に関する奨励表彰者

電子機械工学部
高校生ロボット相撲全国大会出場
全日本ロボット相撲全国大会出場
ジャパンマイコンカーラリー全国大会4位

機械工学部
高校生ロボット相撲全国大会ラジコンの部4位
全日本ロボット相撲全国大会出場
高校生ロボットアメリカンフットボール全国大会出場

部活動等に関する奨励表彰者

剣道部
インターハイ出場
全国選抜大会出場

ボート部
インターハイダブルスカル4位
国民体育大会舵手付クオドルフル2位
全国選抜大会出場

ソフトボール部
インターハイ5年連続出場
全国選抜大会出場

法才　峻也
インターハイ（ソフトテニス競技）出場

オダケホームのコンペに参加して感じたこと

建築工学科　林　真凜（A2）

私は夏に行われたオダケホーム主催の第二十一回北陸の家づくり設計コンペに参加しました。コンペとは、複数の設計案の中から優れた案を選ぶ建築設計競技のことです。オダケホームのコンペが他のコンペと異なる点は、高校生から大学院生までの応募者が同一のテーマに沿って挑戦することです。その中から今回私は、北日本新聞社賞という全体で第三位である賞を頂きました。

表彰式

今回のテーマは「四季の変化を楽しむ家」でした。そのテーマから私は、「縁の家」という古くからの日本家屋における優れた要素を再構築し、現代における四季の変化を楽しむ家を考えました。この「縁の家」の特徴は、「縁側」を設けたことです。閉鎖的な外部と内部の境界線にある中間領域としての「縁側」は、内部でありかつ外部でもある曖昧な空間となります。この「縁側」で結ばれる様々な「縁」、例えば、外部と内部との「縁」、人と人との「縁」、人と自然との「縁」を結んでいく家となることを目指しました。

審査員の先生とともに

今回の賞により作品発表会でプレゼンテーションをする機会を頂きました。自分の作品の良さを言葉で伝えるためには、まず自分自身がもっと作品の良さを理解する必要があると感じました。それと同時にスライドの伝わりやすさにもこだわりました。審査員の方からは「自然との関わりをもった」内部空間の構成を試みた意欲的な提案であると評価を頂きました。また、隙間・建具の構成を様々な角度から検討すると良いというアドバイスも頂きました。

今回のコンペで、先生や審査員方から頂いたアドバイスや学んだことを次回の作品や今後にも生かしていきたいです。また、もっと建築について勉強し自分の伝えたいことを言葉や形にして表現できるようになりたいです。

生まれ変わった図書館

全日制図書部　水谷　克也

E棟実習棟の耐震工事のため、昭和54年の教室棟改築工事に伴いE棟2階に設置され、長年愛され、親しまれて来た本校全日制図書館が平成28年1月8日（金）リニューアルオープンしました。この工事の関係で、平成27年2月末からその年の12月まではD棟実習棟2階のFMS実習室の部屋を仮図書館として利用していました。その間、生徒たちは狭く陳列数の少ない図書館でしたが、多くの生徒が利用してくれました。

今回新しくなった図書館は、E棟1階の機械加工実習室の場所に新規移転し、以前その場所が多くの旋盤や工作機械のあった部屋とは思えないくらい綺麗で利用しやすい図書館に生まれ変わりました。コンクリートむき出しの床からピンク系のリノリウムシートの床に変貌し、壁も明るい色に統一、照明器具も増設していただき、ようやく図書館らしい雰囲気となりました。この図書館には、蔵書数として約21、000冊の書籍を保管しており、以前の図書館より少し狭くなりましたが約17、000冊の書籍が貸し出しできるようになりました。毎年、図書部としては新入生オリエンテーションや生徒図書委員によるブックチョイス（校外図書選定会）、毎月の図書館だよりの発刊、昼休みや放課後の閲覧・貸出業務、蔵書整理、学年毎の読書会などを行っています。しかしながら今年度の夏休み期間中では蔵書整理や閲覧業務が思うようにできなかったため、生徒図書委員会では新着図書の宣伝や広告のためのPOP制作に取り組みました。その結果、新図書館にも生徒たちが制作したPOPを掲示することができ、わかりやすい展示ブースを作り上げることができました。同窓生の皆さんも本校にお寄りになった際には、是非、この図書館に立ち寄っていただければ幸いです。

物故会員

平成二十七年

一月

高田　勝春(23E)
浅野　保(28C)
粟嶋　保(27A)
四十谷　勇(43電子沢)
余川　次郎(29E)
新村　武雄(16F市工)
坂本　幸男(38M定)
波多野安仁(24A市工)
布一　正幸(41E)
岡本　安弘(32E)
奥野　秋政(20A市工)
千田　又一(11F市工)
轡田　忍(50S)

二月

飛騨野　均(44T)
高井　徹(平4情沢)
上田　幸男(23M)
中村　敏雄(17M)
堀田　英治(23E)
石坂　兼光(18A市工)
加登　正人(C27)
松野　信教(42電子沢)
野上　信一(41E)
中島　友和(24E)

三月

森林　正武(38A)
吉村　進(23C市工)
廣瀬　茂治(25普西部)
伊井　秀雄(27E)
武田　正雄(39E)
林　人志(49M)
吉田　稔(30C)
山元　利和(55E)
増田　信一(27C)
西川　透(54A)
川原　勉(25C西部)
田辺喜代二(43電子沢)
堀川　道夫(38M)
福森　久則(平3I)
森井　竹夫(20T)
西森　幸一(18M)
福村　良一(19F市工)
柴　一夫(23P市立)
大島　正寛(50E)
花崎　幸夫(46E沢)

四月

坂口　修(32M)
高野　重孝(26農西部)
吉田　良夫(23市立北学工)
増井　為吉(21H市工)
杉本　啓郎(28T)
水畑　美夫(43C)
前野　政俊(34M定)
福田　安弘(26農西部)
野口　康男(42H)
前田　茂(45H沢)
田辺　利之(20C市工)
上野　忠弘(23C市工)

五月

西村　尚武(29A)
高堂　弘(31T)
池田　勲(38E)
品川　勇(38P)
浦野　昌俊(38A)
高木　成春(32E定)
宮本　勇進(32P)
横田　良一(34C)
七間　郁男(46電沢)
岩山　実(47E定)
水上　敏夫(31E)

六月

林　武(21C市)
黒田　大介(14M)
塚原　正雄(23C市)
大松總八郎(25C西)
川岸　均(51A)
栃折　正平(10F市)
高畑　幸雄(23M併)
永森　芳樹(29H)
吉井　敏英(28C)
惣江　延吉(56M沢)

七月

岡島　勇夫(32E定)
大場　正之(25C西部)
谷本　淑夫(20T)
沖　英夫(53M)
三井　忠博(50電気沢)
岩崎　善治(47E)
吉田　進(38電通沢)
小原　博史(49P定)

八月

田中　正博(41C)
四十川　孝(20H市)
高橋　弘(26T西部)
野崎　勝利(27E)
林　正弘(35E)
宮成　哲夫(41電子沢)
松田　敏夫(42M)
大江　常信(26農西部)
吉岡　明(53M)
清水　正巳(25E西部)
大島　正信(28E)
藤沢　誠(42M沢)
宮口　一夫(29M)
福田　勲(38E)
森山　實(27P)
林　久夫(42M沢)
氷見　清憲(40電子沢)

九月

石倉　昭二(27M定)
佐伯　敏行(34M)
飯田　清弘(30E)
松井　國廣(35F)
廣本　章夫(37C)
高倉　勝(44電気沢)
三浦真一郎(49電気沢)
道林　正治(31M)

十月

上村　繁弘(32E定)
酒井　實(20M)
岡部　孝二(20A)
村田　外治(32M定)
中田　勝雄(31M)
坂田　義男(28E)
山田　潔(16C市工)
山本津代志(23F市工)
中野　義則(37M定)
池田　定雄(17F市立)
五十嵐昭夫(36E)
中村　敏和(37電通沢)
片口　誠一(23C市工)
田中　光夫(50電気沢)
講神　範行(42M沢)
猟田　健治(28C)
浅野　博(20T)
林　高雄(26F)
松岡　利春(27M定)
宮田　博(16P)
村上　康一(42M)
辰見　義明(27F)
中山　勝(40電子沢)
野崎　秀明(45M定)
黒田　潔(38F)
石坂　勉(47E沢)
河邊　三郎(27P)

十一月

十二月

森川　雅明(38T)
久木田修一(31E)
小森　重良(36E定)
永森　茂(20T)
荻田　輝雄(29E)
中沢　文雄(28M定)
萩原　修次(33M)
加藤俊太郎(34H)
藤野　克彦(49M沢)
永原　憲一(41K)
中山　喜正(30C)

平成二十八年

一月

高木　重信(23P市化)
村本　宣弘(41H)
表　幸市(63E)
山下　準一(43電子沢)
横井　武男(24A市工)
田畑　敬(26C西部)
角間甚一郎(20P市立薬)
森　忠義(32T)
小林　敏弘(53P定)
佐野　行雄(30P)
大浦　美規(20P市立薬)

事務局だより

耐震工事も平成27年度で終了し、平成28年度の創校百周年に向けて動いております。

北陸新幹線も3月14日で開業一周年を迎えます。富山県が発展するとともに、富山工業高校もさらなる発展をしていくことと思います。今回の同窓会だより44号は、会員の方々との親睦を図る盛りだくさんの紙面となっておりますので、是非お読み下さい。

広告スペースと金額

企業広告協賛

1頁	二十万円
1／2頁	十四万円
1／4頁	九万円
1／4コラム	一万五千円

富山県立富山工業高等学校同窓会事務局
〒九三〇―〇八六七　富山県五福二―三八
TEL　〇七六―四四一―一九七一
FAX　〇七六―四三二―一二五〇
担当　松井、和田、山口

同窓会だより第44号編集担当
市田　幸之(38F)